



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 あじかん

コード番号 2907 URL <http://www.ahjikan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務推進本部長 兼 経営管理部長 (氏名) 樋口 研治

TEL 082-277-7010

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	25,576	1.7	803	△20.0	622	△32.0	277	△44.6
22年3月期第3四半期	25,146	△2.8	1,004	519.9	915	—	500	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	36.38	—
22年3月期第3四半期	65.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	17,393	8,427	48.5	1,107.02
22年3月期	16,451	8,339	50.7	1,094.80

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 8,427百万円 22年3月期 8,339百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				12.00	12.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,300	0.7	800	△30.8	800	△27.4	420	△25.4	55.14

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	7,700,000株	22年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	87,062株	22年3月期	82,982株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	7,616,642株	22年3月期3Q	7,617,658株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]P.3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) その他注記情報 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）におけるわが国経済は、新興国を中心とした経済成長や、政府による経済対策効果などにより、企業収益や個人消費などの一部において、緩やかながら景気の回復感が見られ始めました。一方、円高傾向で推移する為替相場や雇用情勢の悪化懸念などは依然として残っており、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても、消費者の節約志向が継続している影響で、スーパーマーケットやコンビニエンス・ストアの売上が伸び悩み、また、各社の販売価格競争が一段と激しさを増すなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは当期より、第一に「ブランド価値の向上」、第二に「継続的な需要創造」、第三に需要創造の一環として、国内のみならず中国を中心とした海外へも販売エリアを拡大させた「グローバル化」を目指し、「自社ブランド品の拡充」「営業基盤の拡充」「社内サプライ・チェーン・マネジメントの確立」「コストダウンの推進」「あじかんブランド品質の向上」を重点施策として継続的に取り組んでおります。

また、新規事業への取り組みとして研究・開発を進めておりました、市販用製品（つくば山崎農園産あじかん焙煎ごぼう茶）の製造及び通信販売を当第3四半期より開始いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25,576百万円（前年同期比1.7%増加）、営業利益は803百万円（前年同期比20.0%減少）、経常利益は622百万円（前年同期比32.0%減少）となり、四半期純利益は277百万円（前年同期比44.6%減少）となりました。

なお、セグメント別では営業部門におきましては、ごぼうを中心とした野菜加工製品や冷凍・冷蔵食品が好調に推移したほか、近年では、競争の激化や消費の低迷から減少傾向にあった玉子焼類の売上につきましても、年末年始に向けての販売促進活動を強化させた結果、減少傾向に歯止めをかけることができました。

一方、生産部門におきましては、省エネルギー活動などの原価低減策を講じてまいりましたが、主に、主要原材料である鶏卵価格が需給の関係から上昇した影響を受け、製造原価率は前年同期を上回る結果となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産の増減）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ941百万円増加し17,393百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,115百万円増加し9,735百万円となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の増加2,014百万円、原材料の調達などに伴うたな卸資産全体での増加582百万円、現金及び預金の減少1,505百万円などです。固定資産は、設備投資などによる増加要因もありましたが、減価償却の進行や投資有価証券の時価評価などが主な減少要因となり、前連結会計年度末に比べ174百万円減少の7,658百万円となりました。

##### （負債の増減）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ852百万円増加し8,965百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,051百万円増加し7,898百万円となりました。主な増減要因は、原材料の調達増加に伴う支払手形及び買掛金の増加1,440百万円、未払法人税等の減少411百万円、リース債務の返済による減少59百万円などです。固定負債は、資産除去債務の計上などによる増加要因もありましたが、長期借入金の約定返済による減少205百万円などにより、前連結会計年度末に比べ199百万円減少の1,067百万円となりました。

##### （純資産の増減）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ88百万円増加し8,427百万円となりました。

主な増減要因は、四半期純利益の計上277百万円、剰余金の配当による減少106百万円、評価・換算差額等の減少78百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.2ポイント減少し、48.5%となりました。

#### ②連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,505百万円減少し838百万円となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は、668百万円（前年同期は759百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益546百万円や仕入債務の増加1,443百万円、減価償却費480百万円などの増加要因はあったものの、銀行休業日などの影響による売上債権の一時的な増加2,026百万円や、たな卸資産の増加596百万円、法人税等の支払656百万円が主な減少要因となったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、433百万円（前年同期比50.7%増加）となりました。これは主に、生産設備の増強投資、メンテナンス投資など有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、391百万円（前年同期比43.0%減少）となりました。これは主に、借入金の返済やリース債務の返済、配当金の支払によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、営業利益面では当初予想を若干上回る状況で推移しておりますが、原材料価格が上昇しており、また、当初予想にない新規事業展開にかかる戦略的費用の増加が見込まれていること、ならびに業績に大きく影響を与える為替・株価の変動が不透明で流動的であることから、現時点では当初予想を修正しておりません。業績予想修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

なお、業績予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

##### ・固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が無いと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

##### ・棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 会計処理基準に関する事項の変更

##### ・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は、それぞれ1,905千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、33,843千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は39,973千円であります。

##### ・持分法に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号平成20年3月10日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	848,539	2,354,384
受取手形及び売掛金	※3 5,924,094	3,910,050
商品及び製品	1,951,685	1,478,953
仕掛品	1,270	6,677
原材料及び貯蔵品	754,188	639,072
繰延税金資産	73,454	148,282
その他	222,471	111,137
貸倒引当金	△40,596	△29,009
流動資産合計	9,735,107	8,619,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,740,589	1,713,894
機械装置及び運搬具（純額）	904,340	943,978
土地	2,957,295	2,957,295
リース資産（純額）	25,973	22,586
その他（純額）	217,595	265,876
有形固定資産合計	※1 5,845,795	※1 5,903,630
無形固定資産		
リース資産	20,791	26,065
ソフトウェア	319,041	408,895
その他	25,757	28,271
無形固定資産合計	365,590	463,232
投資その他の資産		
投資有価証券	482,568	521,731
繰延税金資産	117,849	103,398
その他	892,762	896,613
貸倒引当金	△46,271	△56,275
投資その他の資産合計	1,446,910	1,465,468
固定資産合計	7,658,295	7,832,331
資産合計	17,393,403	16,451,881

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 3,861,358	2,420,536
短期借入金	2,567,700	2,480,000
未払法人税等	6,773	418,317
賞与引当金	149,000	238,000
役員賞与引当金	19,299	24,375
リース債務	118,105	177,689
その他	1,176,066	1,087,396
流動負債合計	7,898,303	6,846,315
固定負債		
長期借入金	409,900	615,000
退職給付引当金	170,341	205,419
役員退職慰労引当金	288,996	275,269
資産除去債務	42,030	—
リース債務	156,129	170,796
固定負債合計	1,067,397	1,266,485
負債合計	8,965,701	8,112,800
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	6,404,241	6,233,753
自己株式	△62,815	△59,658
株主資本合計	8,542,665	8,375,335
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,871	19,222
為替換算調整勘定	△118,835	△55,476
評価・換算差額等合計	△114,964	△36,254
純資産合計	8,427,701	8,339,080
負債純資産合計	17,393,403	16,451,881

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	25,146,466	25,576,414
売上原価	18,769,155	19,266,713
売上総利益	6,377,311	6,309,700
販売費及び一般管理費	※1 5,372,513	※1 5,506,232
営業利益	1,004,798	803,468
営業外収益		
受取利息	1,705	1,486
受取配当金	6,666	8,664
持分法による投資利益	20,224	10,664
その他	13,170	9,476
営業外収益合計	41,766	30,291
営業外費用		
支払利息	38,635	30,499
為替差損	36,069	49,093
通貨スワップ評価損	38,168	44,123
長期為替予約評価損	17,396	85,334
その他	1,240	2,622
営業外費用合計	131,511	211,673
経常利益	915,053	622,085
特別利益		
受取補償金	※2 31,137	—
特別利益合計	31,137	—
特別損失		
固定資産除却損	3,650	4,108
投資有価証券売却損	27	107
投資有価証券評価損	4,130	12,045
災害による損失	※3 37,311	—
貸倒引当金繰入額	3,700	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	31,937
和解金	—	※4 27,500
特別損失合計	48,821	75,699
税金等調整前四半期純利益	897,370	546,386
法人税、住民税及び事業税	392,039	197,679
法人税等調整額	4,799	71,580
法人税等合計	396,838	269,260
少数株主損益調整前四半期純利益	—	277,125
四半期純利益	500,531	277,125



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	897,370	546,386
減価償却費	468,415	480,328
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	31,937
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△75,000	△89,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,225	△5,075
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,354	13,726
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△34,735	△35,078
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10,717	1,583
持分法による投資損益 (△は益)	△20,224	△10,664
受取利息及び受取配当金	△8,371	△10,150
支払利息	38,635	30,499
通貨スワップ評価損益 (△は益)	38,168	44,123
有形固定資産除却損	3,650	4,108
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,130	12,045
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,843,685	△2,026,216
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△166,676	△596,370
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,296,554	1,443,047
未収入金の増減額 (△は増加)	△9,992	4,412
未払金の増減額 (△は減少)	125,381	108,787
未払消費税等の増減額 (△は減少)	91,564	△62,654
その他	151,355	101,736
小計	978,838	△12,487
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△219,441	△656,316
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>759,396</b>	<b>△668,804</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△46,061	△9,436
投資有価証券の売却による収入	71	3,392
投資有価証券の償還による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△235,059	△393,896
有形固定資産の売却による収入	228	—
無形固定資産の取得による支出	—	△46,200
利息及び配当金の受取額	8,378	10,154
その他	△14,998	△7,258
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△287,441</b>	<b>△433,244</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	—
長期借入れによる収入	50,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△250,000	△217,400
利息の支払額	△32,017	△24,932
リース債務の返済による支出	△163,759	△139,804
自己株式の取得による支出	△839	△3,156
配当金の支払額	△91,411	△106,584
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△688,028</b>	<b>△391,877</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△367	△11,917
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△216,439	△1,505,844
現金及び現金同等物の期首残高	1,445,783	2,344,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,229,343	※ 838,539

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

当社企業集団は、食料品の製造及び販売を主な事業としており、一セグメントの売上高及び営業利益の金額がいずれも合計額の90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、食料品の製造及び販売を事業としており、主に国内販売を中心に事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、販売を担う営業部門と製品の生産を担う生産部門のセグメントから構成されており、「営業部門」及び「生産部門」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	25,577,683	—	25,577,683	△1,269	25,576,414
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,319	6,868,361	6,869,680	△6,869,680	—
計	25,579,002	6,868,361	32,447,363	△6,870,949	25,576,414
セグメント利益	1,930,386	314,337	2,244,723	△1,441,255	803,468

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,441,255千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,443,889千円及びたな卸資産の調整額△6千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) その他注記情報

## (四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
※1. 有形固定資産の減価償却累計額 <div style="text-align: right;">9,226,859千円</div> 2. _____	※1. 有形固定資産の減価償却累計額 <div style="text-align: right;">9,002,750千円</div> 2. 偶発債務 連結子会社以外の会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり債務保証を行っております。 <div style="text-align: right;">愛康食品(青島)有限公司 68,222千円</div> <hr style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: 0;"/> <div style="text-align: right;">合計 68,222</div> 3. _____
※3. 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。 なお、当四半期連結会計期間の末日は金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が当四半期連結会計期間末残高に含まれております。 <div style="text-align: right;">受取手形 9,783千円</div> <div style="text-align: right;">支払手形 278,476</div>	

## (四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 <div style="text-align: right;">給料手当 1,194,164千円</div> <div style="text-align: right;">賞与引当金繰入額 100,000</div> <div style="text-align: right;">役員賞与引当金繰入額 11,181</div> <div style="text-align: right;">退職給付費用 101,059</div> <div style="text-align: right;">役員退職慰労引当金繰入額 10,354</div> <div style="text-align: right;">貸倒引当金繰入額 26,620</div> <div style="text-align: right;">荷造運賃 1,270,185</div> ※2. 受取補償金 子会社である山東安吉丸有限公司において、青州市の道路拡張等のため建物等を取り壊し、市等より補償金を受領しております。受領金額より、固定資産除却損等を控除した金額を特別利益として計上しております。	※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 <div style="text-align: right;">給料手当 1,196,982千円</div> <div style="text-align: right;">賞与引当金繰入額 94,000</div> <div style="text-align: right;">役員賞与引当金繰入額 17,079</div> <div style="text-align: right;">退職給付費用 98,059</div> <div style="text-align: right;">役員退職慰労引当金繰入額 13,726</div> <div style="text-align: right;">貸倒引当金繰入額 15,677</div> <div style="text-align: right;">荷造運賃 1,322,590</div> 2. _____
※3. 災害による損失 当社静岡工場における地震被害による建物、機械装置等の修復費用を特別損失として計上しております。           4. _____	3. _____ ※4. 和解金 和解金は、特許に関する争いについて和解合意したことに係る支払いであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在)  現金及び預金勘定 1,239,343千円 預金期間が3ヵ月を超える定期 預金 △10,000 <hr/> 現金及び現金同等物 1,229,343	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年12月31日現在)  現金及び預金勘定 848,539千円 預金期間が3ヵ月を超える定期 預金 △10,000 <hr/> 現金及び現金同等物 838,539